

市民力かわら版



きつい坂とカーブが名物 熱闘！たかはらやまトライアスロン

八月五日、真夏の暑
い中、たかはらやまト
ライアスロン大会が開
催され、約四五〇人が
参加。矢板運動公園周
辺が歓声でつつまれま
した。

「スタッフやボランティ
アの方のお陰です」開
口一番こう言われた、
たかはらやまトライア
スロン実行委員長の近
藤一（はじめ）さんにお
話を伺いました。

二十回目を迎え、大
勢の参加者でにぎわい
ました
参加者は、一般が二
九五人、ショート百人
（中学一年以上）、リ
レー、キッズをあわせ
て四四九人でした。

矢板市内や県内はも
ちろん、北は山形県か
ら南は長崎県からも参
加しています。
今は、インターネッ

トで全国の大会の予定
が見られ、申し込みも
出来るので、全国から
参加希望があります。
記念すべき大会なの
で、道の駅、農業公社

の協賛を得て、たかは
ら米とアイスクリーム
の割引クーポンを参加
者に渡すとともに、参
加賞のTシャツと記念
品（タンブラー）をボ
ランティアの人にも提
供しました。

坂と、カーブが名物
トライアスロンは鉄
人レースといわれるほ
どきついレースですが、
なかでも、当会場のバ
イクは寺山ダムを折り
返す急な坂とカーブが
あり、参加者は「ここ
はきついコース」と言
いながらも、逆にそれ
が面白いと好評です。
しかし、だからこそ
安全を最優先しました。



水しぶきをあげてトライアスロンのスタート

その結果、各コースの
設定時間やコース設定
で苦労しましたし、特
にキッズの参加者には
長い時間待機してもら
う事になりました。

参加してもらおう、
ゴール時の写真を郵送
しています。それを知っ
た参加者は、次回から
は家族とテープを切る
ようになり、「家族の
絆を深める」と好
評を得ています。

全国トライアス
ロン大会で、1の
評価

「月刊トライア
スロン」という月
刊誌で、満足度部
門1の評価を四
年前にいただきました
（現在では
この月刊誌は廃刊
になっています。）
これは、スタッ
フやボランティア
の人たちが、温か
く迎え、気さくに話し
かけ、地域の人々が
出て、好感を得たから
だと思います。これを
いつまでも継続するよ

家族で手をつないで
ゴール
二〇〇四年大会から
参加者に喜んでもらえ
るよう、また次回にも

参加してもらおう、
ゴール時の写真を郵送
しています。それを知っ
た参加者は、次回から
は家族とテープを切る
ようになり、「家族の
絆を深める」と好
評を得ています。

う、心がけています。
皆さんに支えられて
特にボランティアの
みなさんは、この暑い
中、「手伝う」という
気持ちでなく、「一緒
に運営する」という意
識で自分の担当を全う
してくれました。

例えば、交差点や曲
がり角で案内する担当
の人たちは、前日のう
ちにその場所にマーク
を付け、ミスや事故が
起こらないよう努めて
くれました。

また、矢板中央高校
のサッカー部員二十人
も、監督が実行委員と
同級生であることから、
積極的に参加してくれ
ました。

ランやバイクは一般
道を走るの、その周
辺の方々には迷惑・不
便をかけることになり
ますが、理解・協力し
てくれます。本当に多
くの皆さんに感謝して
います。

(T・M)